

3.3 XML形式電文

3.3.1 XML形式電文の電文方式

NACCS の XML 形式の電文方式では、システムヘッダー、業務データともに XML 形式のテキスト電文とする。また、XML 形式 1 電文中に含まれる処理要求電文は、1 件とする。

なお、対象業務は、「付表 6-7 対象業務一覧」を参照すること。

3.3.1.1 XML形式電文のフォーマット／バージョン

NACCS の XML 形式電文における電文フォーマット／バージョンは、PAA (Pan Asian e-commerce Alliance) 標準 / Superset Message Structure V2.0 とする。

3.3.2 XML形式電文の電文構造

XML 形式電文は、通信プロトコルヘッダー及び通信プロトコルトレーラーが付加される。電文構造を図 3-3-1、図 3-3-2 に示す。

なお、通信プロトコルが SMTP の場合、各終了タグの後に改行を入れ、送信データ 1 行当たり 1000 バイトを超えないような対処をする必要がある。

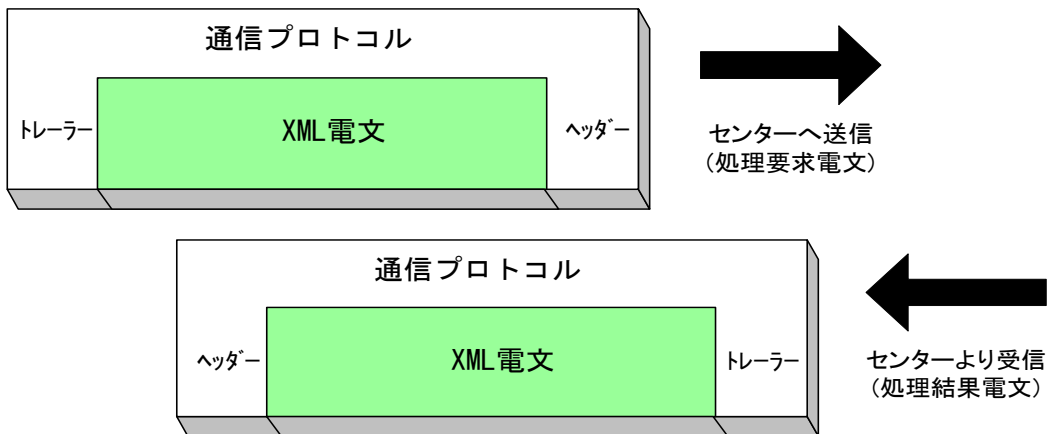
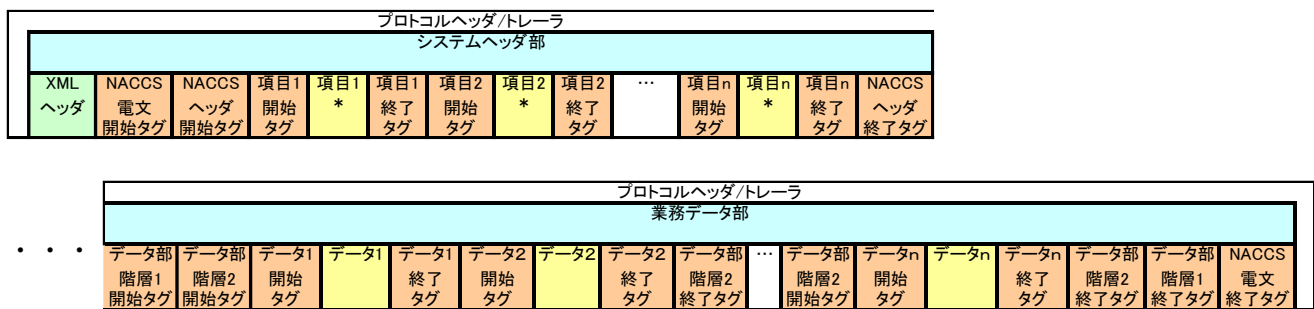


図 3-3-1 XML 形式電文



* 入出力共通項目対象項目（入出力共通項目を複数の項目とし、階層構造としている）

図 3-3-2 XML 形式電文構造の例

3.3.3 XML 形式電文の送受信電文の種類

XML 形式電文の送受信で使用する電文の一覧を表 3-3-1、表 3-3-2 に示す。

表 3-3-1 XML 形式電文の送受信電文一覧（インタラクティブ処理方式）

| 電文の種類 | インタラクティブ処理方式 | | |
|----------|-------------------|----------|-----------|
| | パッケージソフト (注 1) | SMTP 双方向 | ebMS 処理方式 |
| 処理要求電文 | — | ○ | ○ |
| 出力情報電文 | — | ○ | ○ |
| 処理結果通知電文 | — | ○ | ○ |

表 3-3-2 XML 形式電文の送受信電文一覧（メール処理方式）

| 電文の種類 | メール処理方式 |
|----------|------------------|
| | ゲートウェイ コンピュータ |
| 処理要求電文 | ○ |
| 出力情報電文 | ○ |
| 処理結果通知電文 | ○ |

(注 1) パソコン用パッケージソフトは、NACCS EDI 電文のみ対応（XML 形式電文は、使用できない）。

3.3.4 XML 形式電文の電文仕様

XML 形式電文の電文仕様（マッピング表）については、「付録 15」及び「業務仕様書」を参照すること。

なお、各項目の桁数について、PAA 標準と処理要求電文／出力情報電文には、差異があるため、表 3-3-3 のとおりの扱いとする。（注 2）

また、処理要求電文について「項目名」に記載のないタグ（階層タグを除く）を設定する場合は、空タグとして設定すること。（設定されている場合、XML 形式電文の内容が不正であると見做されてしまい、エラーとなる。（エラーコード A0022））

表 3-3-3 PAA 標準と処理要求電文／出力情報電文の桁数差異への対応

| 桁数の関係 | 対応内容 |
|------------------------------------|-------------------------|
| PAA 標準 > 処理要求電文 (PAA 標準の桁数が多い) | 処理要求電文の桁数分を有効データとして処理する |
| PAA 標準 < 処理要求電文 (PAA 標準の桁数が少ない) | PAA 標準の桁数を有効データとして処理する |
| 出力情報電文 > PAA 標準 (出力情報電文の桁数が多い) | PAA 標準の桁数を有効データとして処理する |
| 出力情報電文 < PAA 標準 (出力情報電文の桁数が少ない) | 出力情報電文の桁数分を有効データとして処理する |

（注 2）PAA 標準で定められた桁数を超過した入力があった場合、PAA 標準の桁数の範囲を有効データとして扱う。